

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●内田博幸騎手がJRA通算1万回騎乗を達成

9月15日(土)の4回中山3日・第9レースとして行われた古作特別でダイイチターミナルに騎乗した内田博幸騎手(美浦・フリー)は、この騎乗で史上35人目、現役では23人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。

### ●金成貴史調教師がJRA通算100勝を達成

9月16日(日)の4回中山4日・第7レースでマスラオが1着となり、同馬を管理する金成貴史調教師(美浦)は、現役149人目となるJRA通算100勝(延べ1578頭目)を達成しました。

### ●ディーブインパクト産駒の勝利数がJRA史上単独第4位に

9月17日(祝・月)の4回中山5日・第12レースではダイワギャバンが1着となり、ディーブインパクト産駒のJRA通算勝利数が1712勝となりました。これはブライアンズタイム産駒の1711勝を抜き、種牡馬の産駒のJRA通算勝利数で単独第4位となる記録です。

### ●重賞ウイナー5頭の競走馬登録抹消

2016年夕刊フジ賞オーシャンS(GⅢ)の勝ち馬エイシンプルズアイ(牡7歳/栗東・野中賢二厩舎/JRA通算25戦5勝)、2015年カベラス(GⅢ)の勝ち馬キクノストーム(牡9歳/栗東・吉田直弘厩舎/JRA通算46戦7勝・地方2戦0勝)、2017年京都ハイジャンプ(J・GⅡ)の勝ち馬マドリッドカフェ(牡7歳/栗東・荒川義之厩舎/JRA通算35戦7勝・地方1戦0勝)、2016年・2017年金鯨賞(GⅡ)などの勝ち馬ヤマカツエース(牡6歳/栗東・池添兼雄厩舎/JRA通算30戦7勝)、2016年日経新春杯(GⅡ)などの勝ち馬レーヴミストラル(牡6歳/栗東・高野友和厩舎/JRA通算17戦4勝)は、9月19日(水)までに競走馬登録を抹消されました。エイシンプルズアイとキクノストームは地方・園田競馬へ移籍し、マドリッドカフェは滋賀県東近江市のアカデミー牧場で乗馬となり、ヤマカツエースは北海道新ひだか町のアロースタッド、レーヴミストラルは北海道新ひだか町のレックススタッドで種牡馬となる予定です。

### ●ジョッキーベイビーズの東海地区代表が決定

9月9日(日)、中京競馬場で全国ポニー競馬選手権「第10回ジョッキーベイビーズ」の東海地区代表決定戦が実施され、吉田夏希さん(中学1年生・水口乗馬クラブ)が地区代表に選出されました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●地震で開催中止の門別競馬が9月25日から再開

9月6日に発生した北海道胆振東部地震の影響(断水等)により、開催中止となっていた門別競馬は、9月25日から再開されることが決定しました。電力事情に鑑み、当面の間はナイターではなく、昼間開催となります。

### ●リンゾウチャンネルが盛岡芝の重賞制覇【各地の主要2歳重賞】

ジュニアグランプリ(9月16日、盛岡、芝1600m)は、2番手から3コーナーで先頭に立った北海道からの遠征馬リンゾウチャンネル(牡、父モンテロッソ)が後続を完封し、1番人気に当たっています。園田プリンセスC(9月20日、園田、1400m、牝馬)は、中団から追い上げた7番人気の地元兵庫のリリコ(父フリオーソ)が直線半ばで差し切り勝ち。3戦全勝で単勝1.9倍の支持を集めた金沢からの遠征馬ワンモアグロリーは、スタート直後の他馬との接触も響いたか、大差の最下位11着に敗れました。

### ●オウケンビリーヴらが出走、9月24日のオーバルスプリント

テレ玉杯オーバルスプリント(JpnⅢ、9月24日、浦和、1400m)は、クラスターCに続く重賞2連勝を狙うオウケンビリーヴが中心、以下ウインムート、ドライヴナイト、ネロの順に有力視されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1愛チャンピオンS～ロアリングライオンがG1・3連勝

9月15日にアイルランドのレパーズタウン競馬場で行われたG1愛チャンピオンS(3歳上、芝10<sup>00</sup>m)は、O.マーフィー騎手を背に後方からレースを進めたロアリングライオン(牡3歳、父キトゥンズジョイ、英J.ゴスデン厩舎)がディーブインパクト産駒の日本産馬サクソソウォリアーを差し切って優勝。7月のG1エクリプスS(芝9<sup>00</sup>m209<sup>7</sup>m)・8月のG1インターナショナルS(芝10<sup>00</sup>m56<sup>7</sup>m)に続くG1・3連勝としました。なお、サクソソウォリアーはレース後に左前肢の腱を傷めていることが判明、引退が発表されています。

### ●G2フォワ賞～クリンチャーは6着

9月16日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG2フォワ賞(4歳上牡牝、芝2400m)に武豊騎手を背に出走したクリンチャー(牡4歳、宮本博厩舎)は逃げて6着(最下位)に終わりました。勝ったのは地元のヴァルトガイスト(牡4歳、父ガリレオ、仏A.フェール厩舎)で、同じ厩舎のG1ブリーダーズCターフ勝ち馬タリスマニックに2馬身半差をつけました。また、同日に同競馬場で行われたG3パン賞(3歳上、芝1400m)に出走したジェニアル(牡4歳、松永幹夫厩舎)も10着に終わっています。